

## 総合政策課長の仕事宣言！

総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります
② 目標値	新鳥栖駅利用者数 〔後期基本計画期間〕 平成25年度 2,470人/日 ⇒ 平成32年度 6,180人/日
③ 今年度の取組方針	平成30年4月から前立腺がんと頭頸部がんの一部が新たに公的医療保険の適用となり、重粒子線による治療がさらに身近な治療方法となったことや、第3室での治療開始により、より多くの患者受け入れ、治療が可能となったことから、重粒子線がん治療の有効性や安全性のPR活動など、九州重粒子線がん治療センターを誘致した地元自治体の役割として、重粒子線がん治療の普及推進を図ります。
④ 今年度の取組結果	
⑤ 数値目標の結果	
⑥ 成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

## 総合政策課長の仕事宣言！

総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	地域間交流・広域連携の取り組みを進めます
② 目標値	広域連携事業数 [平成30年度] 現状値 10事業 ⇒ 平成30年度末 11事業 [後期基本計画期間] 平成26年度 10事業 ⇒ 平成32年度 12事業
③ 今年度の取組方針	筑後川流域クロスロード協議会、グランドクロス広域連携協議会を中心とした広域での具体的な取組を推進することで、圏域内の一層の連携、住民サービスの向上につなげます。 筑後川流域クロスロード協議会では、新たなビジョンに基づく新機軸の連携事業の検討、グランドクロス広域連携協議会では、昨年度から新たな部会編成についての協議を進めており、広域のスケールメリットを活かした、効果的な取り組みの検討・推進を図ります。
④ 今年度の取組結果	
⑤ 数値目標の結果	
⑥ 成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

## 総合政策課長の仕事宣言！

総合政策課長 鹿毛 晃之

①重点施策項目名	土地利用構想を策定します
②目標値	平成30年度早期の土地利用構想策定
③今年度の取組方針	<p>昨年度に実施した土地利用構想調査結果をもとに、中長期的な視点で新たな拠点形成を目指した移住・定住者の受け皿、企業誘致の受け皿となる土地利用の在り方について、本市の考え方をまとめた土地利用構想を策定します。</p> <p>本構想により、第6次鳥栖市総合計画土地利用計画（ゾーニング）を見直し、そのうえで国、県、地元など関係機関への説明・協議を重ね、目指すべき土地利用の在り方についての検討を行います。</p>
④今年度の取組結果	
⑤数値目標の結果	
⑥成果と課題（次年度に向けて）	

◇所管部長の指示